

関東運輸局管内港湾運送事業者の2015年度船舶積卸し実績の公表 ～管内全体の取扱量は、前年比3.6%減少～	… 2
外国船舶の重大な欠陥に対する出港差し止め処分の状況について (平成28年6月)	… 9
平成28年 第21回「海の日」表彰式を行います	… 10
内航海運パネルの常設展示 - 夏休み期間中にエスカル横浜において開催 -	… 17
「4県合同・関東海っ娘塾」の開催について - 平成28年7月24日(日)～26日(火)横浜港において開催 -	… 18
平成28年度「宿泊施設のインバウンド対応支援事業」の公募を開始 ～訪日外国人が利用しやすい旅館・ホテルの拡大に向けて～	… 21

平成28年7月11日(月)
関東運輸局

関東運輸局管内 港湾運送事業者の 2015年度 船舶積卸し実績の公表

～管内全体の取扱量は、前年比3.6%減少～

1. 全取扱量の概況

2015年度の関東運輸局管内の港湾運送事業法適用6港湾(京浜横浜・東京・川崎 港、横須賀港、千葉港、木更津港、鹿島港、日立港)における港湾運送事業者による船舶積卸し実績は、前年度と比べて3.6%減少し、4億495万トン(前年度4億1993万トン)となった。



2. 港別の概況

横浜港は、同港シェア89.5%を占める2品目の取扱量が減少(「コンテナ」が前年度比3.7%減、「自動車」が同3.3%減)したことなどにより、全体で前年度比4.5%(538万トン)減の1億1539万トンとなった。

東京港は、同港シェア92.1%を占める「コンテナ」の取扱量が減少(前年度比3.6%減)したことなどにより、全体で前年度比3.1%(442万トン)減の1億3712万トンとなった。港別取扱量では15年連続して管内第1位。

川崎港は、「金属鉱」の取扱量が減少(前年度比10.9%減)したものの、「コンテナ」の取扱量が増加(同33.5%増)したことなどにより、全体で前年度比0.4%(11万トン)増の2829万トンとなった。

横須賀港は、「自動車」の取扱量が減少(前年度比4.4%減)したことなどにより、全体で前年度比2.3%(18万トン)減の774万トンとなった。

千葉港は、「自動車」の取扱量が増加(前年度比22.4%増)したものの、「鉄鋼」及び「金属鉱」の取扱量が減少(それぞれ同9.2%減、同5.6%減)したことなどにより、全体で前年度比1.9%(87万トン)減の4524万トンとなった。

木更津港は、「金属鉱」及び「鉄鋼」の取扱量が減少(それぞれ前年度比7.7%減、同7.8%減)したことなどにより、全体で前年度比7.0%(251万トン)減の3353万トンとなった。

鹿島港は、「金属鉱」の取扱量が減少(前年度比9.2%減)したことなどにより、全体で前年度比4.6%(170万トン)減の3499万トンとなった。

日立港は、「コンテナ」の取扱量が増加(前年度比1.1%増)したものの、「非鉄金属」の取扱量が減少(同13.7%減)したことなどにより、全体で前年度比1.0%(2万トン)減の266万トンとなった。

管内全体としては、「自動車」の取扱量が増加（前年度比１．２％増）したものの、「コンテナ」「金属鉱」「鉄鋼」「石炭」の取扱量が減少（それぞれ同３．１％減、同８．４％減、同６．６％減、同２．９％減）したことなどにより、前年を下回る取扱量となった。

３．輸出入取扱いの動向

輸出入の取扱量合計は、全取扱量の約８３％を占め、日立港において増加（前年度比６．０％増）したものの、管内輸出入取扱量１位の東京港において減少（同３．１％減）したことなどにより、管内全体では前年度比３．２％減の３億３６１０万トン（前年度３億４７１３万トン）となった。



４．移出入取扱いの動向

移出入の取扱量合計は、全取扱量の約１７％であり、川崎港において増加（前年度比７．８％増）したものの、横浜港、木更津港及び鹿島港において減少（それぞれ同２１．５％減、同６．７％減、同１１．９％減）したことなどにより、管内全体では前年度比５．４％減の６８８６万トン（前年度７２８０万トン）となった。



５．主要品目別の動向

主要５品目（コンテナ、金属鉱、鉄鋼、自動車、石炭）で管内全取扱量の約８７％を占めている。「自動車」の取扱量が増加したものの他の４品目は減少し、５品目全体では前年度比３．５％減となった。

「コンテナ」の取扱量は、川崎港において前年度比３３．５％（８０万トン）増、千葉港において同４．６％（１０万トン）増となったものの、東京港において同３．６％（４７３万トン）減、横浜港において同３．７％（３２３万トン）減となったことなどにより、前年度比３．１％（７０５万トン）減の２億１７２２万トンとなった。

「金属鉱」の取扱量は、木更津港において前年度比７．７％（１１８万トン）減、鹿島港において同９．２％（１２０万トン）減となったことなどにより、前年度比８．４％（３５９万トン）減の３９０６万トンとなった。

「鉄鋼」の取扱量は、千葉港において前年度比９．２％（９４万トン）減、木更津港において同７．８％（６３万トン）減となったことなどにより、前年度比６．６％（１８８万トン）減の２６４１万トンとなった。

「自動車」の取扱量は、横浜港において前年度比３．３％（６８万トン）減、横須賀港において同４．４％（２４万トン）減となったものの、千葉港において同２２．４％（１１８万トン）増、木更津港において同６８．７％（１６万トン）増となったことなどにより、前年度比１．２％（４７万トン）増の４０３４万トンとなった。

「石炭」の取扱量は、川崎港において前年度比２．６％（１７万トン）増となったものの、千葉港において同４．９％（３４万トン）減、木更津港において同４．７％（２５万トン）減となったことなどにより、前年度比２．９％（８８万トン）減の２９３１万トンとなった。

【問合せ先】

国土交通省関東運輸局海事振興部港運課（担当：山下、坂本）

電話：０４５－２１１－７２１５　ＦＡＸ：０４５－２０１－８７８８

【配布先】

横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、物流専門紙

関東運輸局管内 港別船舶積卸し実績推移

表 1

〔単位：万トン〕

港 名	2 2 年度 数 量 (シェア)			2 3 年度 数 量 (シェア)			2 4 年度 数 量 (シェア)			2 5 年度 数 量 (シェア)			2 6 年度 数 量 (シェア)			2 7 年度 数 量 (シェア)		
	順位		前年度比	順位		前年度比	順位		前年度比	順位		前年度比	順位		前年度比	順位		前年度比:前々年度比
横 浜		11,887 (29)	113.0%		12,264 (30)	103.2%		12,195 (29)	99.4%		11,826 (28)	97.0%		12,077 (29)	102.1%		11,539 (28)	95.5% 97.6%
東 京		13,853 (34)	109.3%		14,198 (35)	102.5%		14,034 (34)	98.8%		14,335 (34)	102.1%		14,154 (34)	98.7%		13,712 (34)	96.9% 95.7%
川 崎		2,493 (6)	107.6%		2,183 (5)	87.6%		2,486 (6)	113.9%		2,663 (6)	107.1%		2,818 (7)	105.8%		2,829 (7)	100.4% 106.2%
横須賀		588 (1)	96.8%		699 (2)	118.9%		782 (2)	111.9%		758 (2)	96.9%		792 (2)	104.5%		774 (2)	97.7% 102.1%
千 葉		4,583 (11)	110.9%		4,606 (11)	100.5%		4,587 (11)	99.6%		4,623 (11)	100.8%		4,611 (11)	99.7%		4,524 (11)	98.1% 97.9%
木更津		3,787 (9)	110.0%		3,326 (8)	87.8%		3,443 (8)	103.5%		3,817 (9)	110.9%		3,604 (9)	94.4%		3,353 (8)	93.0% 87.9%
鹿 島		3,602 (9)	103.3%		3,323 (8)	92.2%		3,615 (9)	108.8%		3,711 (9)	102.7%		3,669 (9)	98.9%		3,499 (9)	95.4% 94.3%
日 立		316 (1)	102.9%		222 (1)	70.3%		303 (1)	136.3%		270 (1)	89.1%		268 (1)	99.2%		266 (1)	99.0% 98.2%
合 計		41,110 (100)	109.7%		40,820 (100)	99.3%		41,446 (100)	101.5%		42,003 (100)	101.3%		41,993 (100)	100.0%		40,495 (100)	96.4% 96.4%
輸出入	84%			84%			83%			83%			83%			83%		
移出入	16%			16%			17%			17%			17%			17%		

(注) 取扱量は各年度とも当年4月から翌年3月までの間の数量である。

平成 2 7 年 度 関 東 運 輸 局 管 内 港 別 船 舶 積 卸 し 実 績 (輸 移 出 入 別)

表2
(単位:万トン)

港 名	輸 入			輸 出			小 計			移 入			移 出			小 計			合 計		
	前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比	
横 浜	4,704	95.8%	95.0%	5,981	98.4%	102.6%	10,686	97.2%	99.1%	682	83.8%	90.2%	172	62.9%	59.5%	854	78.5%	81.8%	11,539	95.5%	97.6%
東 京	6,682	97.7%	94.7%	6,076	96.1%	95.0%	12,759	96.9%	94.8%	605	100.9%	110.1%	348	88.8%	104.9%	953	96.1%	108.1%	13,712	96.9%	95.7%
川 崎	1,598	98.1%	104.5%	695	100.4%	109.1%	2,293	98.8%	105.8%	224	91.0%	85.1%	311	124.5%	133.7%	535	107.8%	107.9%	2,829	100.4%	106.2%
横須賀	18	91.2%	74.2%	98	90.8%	88.4%	116	90.9%	85.8%	386	99.1%	102.5%	272	98.8%	110.2%	658	99.0%	105.6%	774	97.7%	102.1%
千 葉	2,045	94.8%	96.9%	487	103.4%	95.4%	2,532	96.3%	96.6%	1,427	99.4%	98.0%	565	103.2%	103.6%	1,992	100.5%	99.5%	4,524	98.1%	97.9%
木更津	1,944	92.7%	86.5%	339	94.5%	95.3%	2,284	92.9%	87.7%	324	96.1%	102.1%	745	92.1%	83.2%	1,070	93.3%	88.1%	3,353	93.0%	87.9%
鹿 島	2,546	95.0%	91.5%	346	115.1%	122.6%	2,892	97.1%	94.3%	248	98.9%	127.0%	360	81.9%	80.0%	607	88.1%	94.2%	3,499	95.4%	94.3%
日 立	48	106.9%	95.4%	1	70.0%	69.1%	49	106.0%	94.9%	148	96.9%	97.2%	68	98.8%	103.1%	216	97.5%	99.0%	266	99.0%	98.2%
合 計	19,587	96.1%	95.8%	14,023	97.8%	100.9%	33,610	96.8%	97.9%	4,044	95.7%	110.8%	2,841	93.0%	100.5%	6,886	94.6%	106.3%	40,495	96.4%	99.2%

平成 2 7 年 度 関 東 運 輸 局 管 内 港 別 船 舶 積 卸 し 実 績 (上 位 5 品 目 別)

表3
(単位:万トン)

港 名	品 目 名			品 目 名			品 目 名			品 目 名			品 目 名							
	数量	前年度比	前々年度比	数量	前年度比	前々年度比	数量	前年度比	前々年度比	数量	前年度比	前々年度比	数量	前年度比	前々年度比					
横 浜	コンテナ	8,341	96.3%	96.4%	自動車	1,982	96.7%	101.3%	石炭	456	93.7%	127.8%	鉄鋼	171	95.2%	91.9%	穀物ばら	161	87.3%	93.7%
	分類不能				紙パルプ				その他金属機械工業品				鉄鋼							
東 京	コンテナ	12,632	96.4%	94.4%	337	99.1%	139.2%	142	97.6%	98.1%	115	169.3%	273.5%	87	86.8%	78.9%				
川 崎	自動車	728	101.3%	98.3%	石炭	666	102.6%	110.7%	金属鉱	588	89.1%	94.4%	コンテナ	319	133.5%	181.9%	鉄鋼	108	102.9%	111.4%
	その他金属機械工業品				その他農水産品ばら				鉄鋼				金属くず							
横須賀	自動車	525	95.6%	103.6%	245	102.5%	100.0%	1	89.6%	92.4%	1	65.7%	56.5%	1	335.7%	47.6%				
千 葉	鉄鋼	936	90.8%	92.8%	金属鉱	693	94.4%	96.0%	石炭	660	95.1%	106.0%	自動車	643	122.4%	98.2%	その他鉱産品	572	92.6%	94.4%
	金属鉱				鉄鋼				石炭				砂・砂利・石材				その他鉱産品			
木更津	金属鉱	1,418	92.3%	89.3%	740	92.2%	91.1%	502	95.3%	78.8%	258	84.8%	77.3%	225	107.1%	85.6%				
鹿 島	金属鉱	1,188	90.8%	90.9%	石炭	623	98.0%	90.9%	鉄鋼	594	98.3%	98.7%	穀物ばら	415	102.0%	93.5%	雑工業品	184	104.0%	125.8%
	コンテナ				自動車				非鉄金属				石炭				その他金属機械工業品			
日 立	コンテナ	177	101.1%	99.4%	31	100.3%	71.3%	23	86.3%	98.3%	12	116.5%	392.1%	8	82.8%	137.4%				

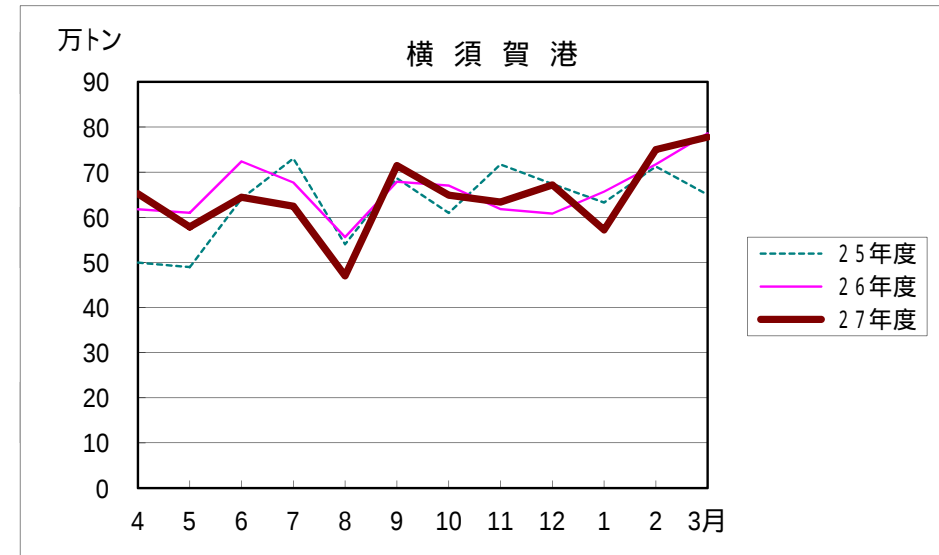
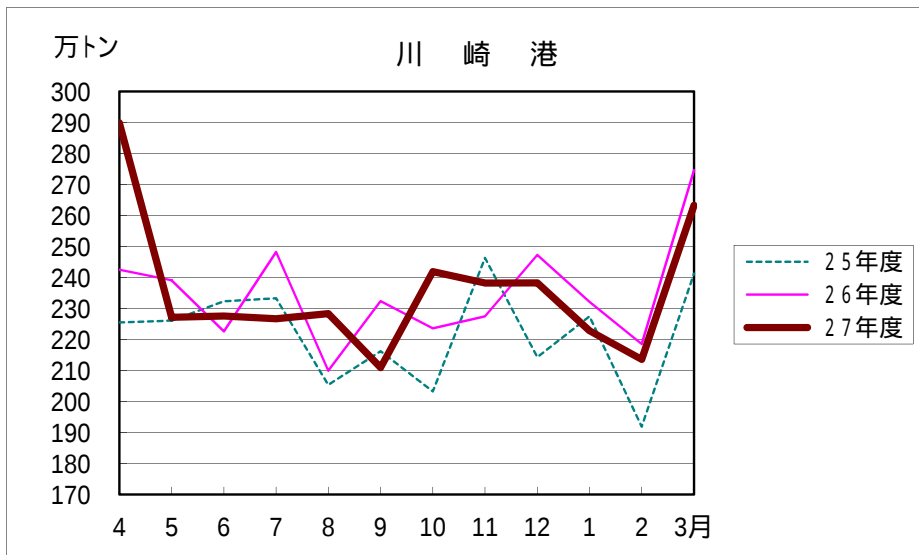
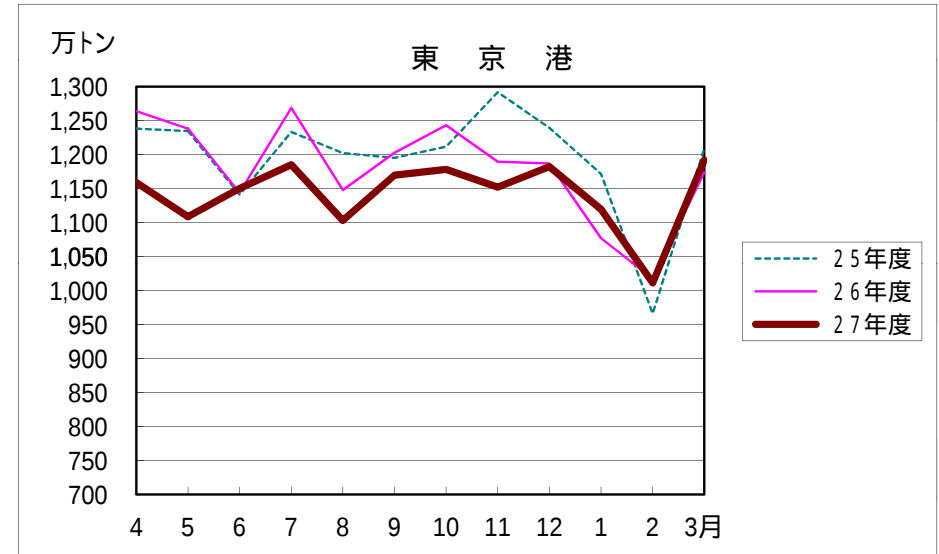
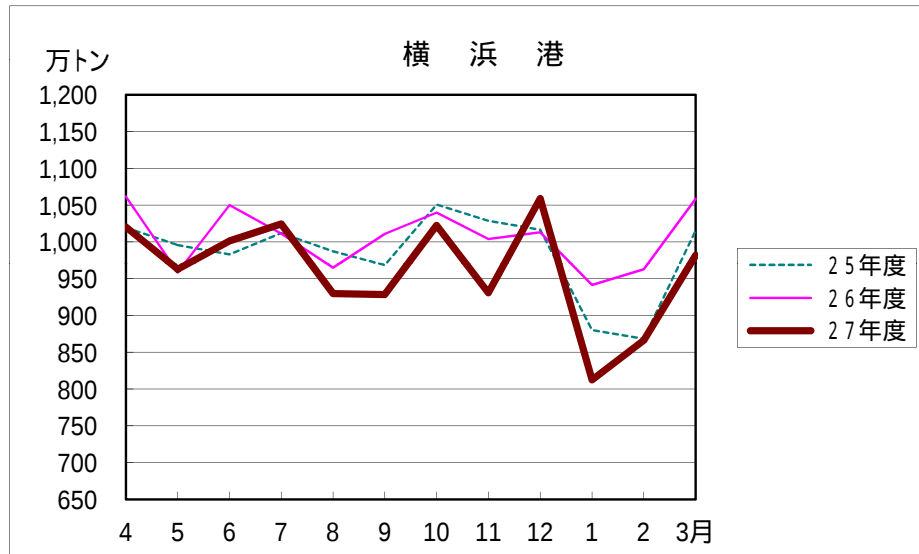
平成27年度 関東運輸局管内主要品目船舶積卸し実績

表4

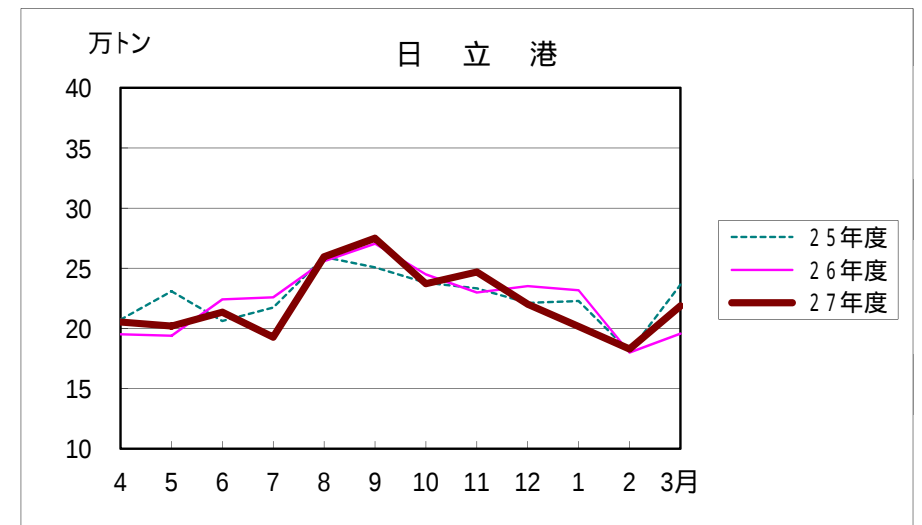
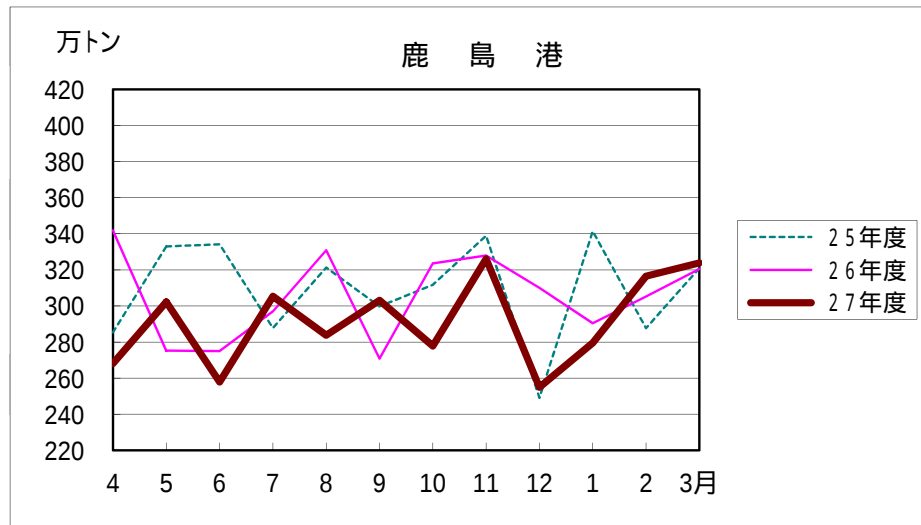
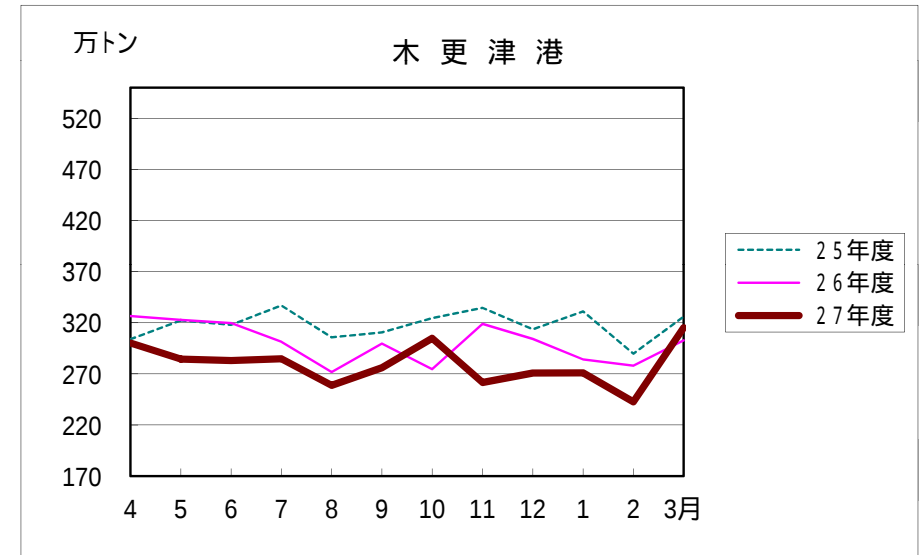
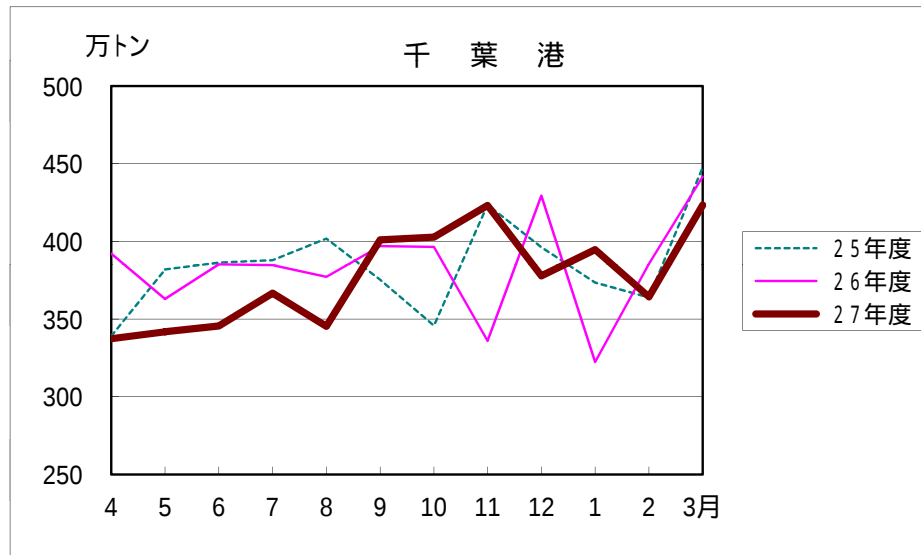
(単位：万トン)

品 目	輸 入			輸 出			小 計			移 入			移 出			小 計			合 計		
		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比		前年度比	前々年度比
コンテナ	10,771	97.8%	95.8%	10,534	96.2%	96.3%	21,305	97.0%	96.0%	233	94.1%	96.2%	184	82.9%	89.7%	417	88.8%	93.2%	21,722	96.9%	96.0%
金 属 鉱	3,836	91.7%	91.4%	14	88.2%	78.7%	3,849	91.7%	91.3%	56	91.2%	100.5%	1	-	-	57	85.9%	101.8%	3,906	91.6%	91.4%
鉄 鋼	228	92.0%	94.0%	971	98.6%	101.8%	1,199	97.3%	100.2%	686	91.9%	90.1%	756	89.0%	87.4%	1,442	90.4%	88.6%	2,641	93.4%	93.6%
自 動 車	237	106.1%	80.8%	2,087	104.6%	112.0%	2,324	104.8%	107.8%	1,069	93.5%	87.8%	641	102.5%	102.4%	1,710	96.7%	92.8%	4,034	101.2%	100.8%
石 炭	2,428	97.0%	94.9%	8	86.1%	156.6%	2,436	97.0%	95.1%	335	92.7%	130.2%	161	109.3%	154.1%	496	97.5%	137.1%	2,931	97.1%	100.3%
合 計	17,499	96.3%	94.4%	13,614	97.6%	98.8%	31,113	96.9%	96.3%	2,379	92.9%	93.9%	1,742	94.2%	96.8%	4,121	93.5%	95.1%	35,234	96.5%	96.1%

船舶積卸し実績推移



船舶積卸し実績推移





平成 28 年 7 月 11 日

問い合わせ先

関東運輸局 海上安全環境部 外国船舶監督官

担当：佐野、松本

電話：045-211-7264 Fax：045-201-8794

配布先：横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

物流専門紙、

外国船舶の重大な欠陥に対する出港差し止め 処分の状況について（平成 28 年 6 月）

関東運輸局では、船舶の安全運航と海洋環境の保全の観点から管内の港に入港する外国船舶に対して構造・設備の状態、船員の資格等が関係する国際条約の基準に適合しているかを検査する外国船舶監督（PSC：ポートステートコントロール）を実施しています。

6 月、管内において PSC を実施した外国船舶 114 隻のうち、重大な欠陥として是正終了まで出港を差し止める処分を行った船舶は 4 隻で、概要は下記のとおりとなっています。

記**拘留処分を受けた外国船舶（平成 28 年 6 月分）**

船名 船種 IMO 番号 注1	建造年 旗国 総トン数	船会社 注2	検査 場所	拘留日 解除日	重大な欠陥内容
TOYO MARU 一般貨物船 9009097	1990 カンボジア 5,470	EAST BRIGHT INTERNATIONAL SHIPPING LIMITED	川崎	H28.06.06 H28.06.23	・ 船員への賃金未払い ・ 雇用契約の期限切れ
MING DE 一般貨物船 9124794	1995 ミクロネシア 1,452	YANTAI GUANG TONG INTERNATIONAL SHIP MANAGEMENT CO.,LTD.	横浜	H28.06.10 H28.06.17	・ 火災探知装置の不具合 ・ 貨物倉ハッチカバーの不具合 ・ ISM コードの欠陥
TAI RONG 16 一般貨物船 9373802	2004 ミクロネシア 1,575	DALIAN SHENGHANG MARITIME SERVICE LIMITED	横浜	H28.06.13 H28.06.20	・ 消火主管の不具合 ・ 舷窓の不具合 ・ 貨物倉ハッチカバー、船首楼甲板ハッチの不具合 ・ ISM コードの欠陥
SUMMIT SW 一般貨物船 9691163	2014 パナマ 22,866	SHIN WEI NAVIGATION CO.,LTD	鹿島	H28.06.20 H28.06.21	・ 船長の資格証明書の不具合

注 1 国際海事機関船舶識別番号

注 2 ISM（国際安全管理）コード適用船の場合は ISM 証書の船会社。適用船でない場合は船主

平成 28 年 7 月 15 日

(問い合わせ先)

関東運輸局 総務部 人事課 担当：和田、林

電話：045-211-7206

FAX：045-663-4743

(配布先)

横浜海事記者クラブ・神奈川県政記者クラブ

・物流専門紙

平成 28 年 第 21 回「海の日」表彰式を行います

関東運輸局管内における海事関係事業の功労者として、永年にわたり業務に精励された別紙の者に対し、下記日程により表彰式を行いますので、お知らせします。

記

1. 名 称 平成 28 年 第 21 回「海の日」表彰式

2. 日時及び会場

- | | | |
|-------|----------------------|------------------|
| (本 省) | 平成 28 年 7 月 25 日 (月) | 開式：午前 11 時 |
| | 「国土交通省共用大会議室」 | 千代田区霞が関 2-1-3 |
| (横 浜) | 平成 28 年 7 月 29 日 (金) | 開式：午後 2 時 |
| | 「横浜市開港記念会館」 | 横浜市中区本町 1-6 |
| (茨 城) | 平成 28 年 7 月 22 日 (金) | 開式：午後 2 時 |
| | 「ホテルニュー白亜紀」 | ひたちなか市磯崎町 4604 |
| (鹿 島) | 平成 28 年 7 月 26 日 (火) | 開式：午後 2 時 |
| | 「鹿島セントラルホテル」 | 神栖市大野原 4-7-11 |
| (千 葉) | 平成 28 年 7 月 28 日 (木) | 開式：午前 10 時 30 分 |
| | 「千葉港湾合同庁舎」 | 千葉市中央区中央港 1-12-2 |
| (東 京) | 平成 28 年 7 月 21 日 (木) | 開式：午後 3 時 |
| | 「東京港芝浦サービスセンター」 | 港区海岸 3-26-1 |
| (川 崎) | 平成 28 年 7 月 22 日 (金) | 開式：午前 11 時 30 分 |
| | 「川崎マリエン」 | 川崎市川崎区東扇島 38-1 |

※各受賞者の会場については上記問い合わせ先までお願いします。

3. 受賞者数 111 名及び 2 団体

(内 訳) 大臣表彰 14 名

局長表彰 97 名及び 2 団体

関東運輸局 平成28年（第21回）海の日受賞者名簿

国土交通大臣表彰

【海事功労】

氏 名	所 属
犬 塚 静 衛	元 ・ 湊 澤 倉 庫 (株)
藤 本 嘉 和	元 ・ 一 般 社 団 法 人 全 日 検

【永年勤続】

氏 名	所 属
高 橋 信 哉	山 九 (株)
山 口 義 文	三 井 造 船 (株)
鎌 田 勝 洋	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
竹 内 尚 武	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
中 台 紘	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
長 塚 正 敏	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
乗 越 保	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
福 永 昭 一	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
三 角 安 洲 男	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
森 富 二 夫	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
守 口 恭 之 輔	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会

【船員永年】

氏 名	所 属
岡 本 満 夫	(株) M O L マ リ ン

関東運輸局長表彰

【海事功労】

氏 名	所 属
鈴木 裕 司	(株) 拓 洋
星 野 理 一	(株) 星 野 又 右 衛 門 商 店
今 井 恵 一	澁 澤 倉 庫 (株)
平 子 隆 生	日 本 ト ラ ン ス シ テ ィ (株)
井 上 真 二	丸 二 倉 庫 (株)
佐 藤 一 成	安 田 倉 庫 (株)
藤 邨 省 司	(株) 藤 村
三 池 治 行	一般社団法人日本海事代理士会関東支部
筒 井 健 司	昭 和 日 タ ン (株)
西 崎 克 由	大 同 商 運 (株)
壁 谷 泰 雄	東 海 運 (株)
関 守 助	内 外 日 東 (株)
古 渡 酉 進	楠 原 輸 送 (株)
片 岡 達 也	千 葉 宇 徳 (株)
百 田 仁	モ モ タ 電 気 サ ー ビ ス
村 上 博 文	日 本 船 燈 (株)

【発明考案】

氏 名	所 属
狼 谷 喜 和	墨 田 川 造 船 (株)

【永年勤続】

氏 名	所 属
富 山 正 則	小 山 企 業 (株)
飯 塚 照 広	東 京 水 産 タ ー ミ ナ ル (株)

	氏	名		所	属	
荒	井	正	俊	東	洋	水産(株)
内	藤	文	明	日	水	物流(株)
槌	谷	信	善	安	田	倉庫(株)
福	井	秀	男	京	葉	鐵鋼埠頭(株)
竹	下	恵	子	(株)	ニチレイ・ロジスティクス	関東
青	木	利	幸	(株)	笹	田組
古	本	保	典	(株)	笹	田組
八	城	継	郷	(株)	山	九海陸
渡	部	恭	輔	(株)	山	九海陸
金	子	達	也	湘	南	企業(株)
川	上	功	誠	(株)	鈴	江組
水	橋	康	生	一	般	社団法人全日検
赤	羽	建	紀	一	般	社団法人日本海事検定協会
遠	藤	亮	太	原	田	港湾(株)
山	口	昭	夫	泉	海	陸作業(株)
清	田	吉	範	一	般	社団法人全日検
小	海	和	則	三	井	埠頭(株)
庄	司		茂	ア	サ	ガミ(株)
稲	味	達	也	山	九	東日本サービス(株)
足	利	谷	良	J	F	E物流(株)
稲	見		仁	日	立	埠頭(株)
大	塚	安	雄	日	鉄	住金物流鹿島(株)
椎	木	昭	司	日	鉄	住金物流鹿島(株)
平	野	健	志	日	鉄	住金物流鹿島(株)
堀	川	博	行	日	鉄	住金物流鹿島(株)
石	井	良	夫	富	士	港運(株)
須	貝	敏	也	富	士	港運(株)
高	尾	幹	雄	富	士	港運(株)

氏 名	所 属
松 井 美 智 男	富 士 港 運 (株)
塙 英 夫	丸 全 昭 和 運 輸 (株)
小 松 久 雄	石 井 工 業 有 限 会 社
池 澤 庸 輔	ジャパン マリンユナイテッド(株)
下 地 安 行	ジャパン マリンユナイテッド(株)
菅 原 清	ジャパン マリンユナイテッド(株)
中 司 達 也	ジャパン マリンユナイテッド(株)
南 雲 佐 吉	ジャパン マリンユナイテッド(株)
濱 田 真 一	ジャパン マリンユナイテッド(株)
前 田 童	ジャパン マリンユナイテッド(株)
茂 木 貴 志	ジャパン マリンユナイテッド(株)
平 本 和 弘	住友重機械マリンエンジニアリング(株)
泉 澤 清 栄	三 井 造 船 (株)
外 山 満	三 井 造 船 (株)
鈴 木 久 男	三井造船千葉機工エンジニアリング(株)
池 田 隆 史	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
石 塚 隆 一	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
江 村 正	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
大 宮 博 孝	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
木 田 久 男	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
小 早 川 清 二	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
紺 頼 英 雄	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
齋 藤 雅	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
坂 崎 清	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
重 田 秀 人	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
嶋 田 謨 徳	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
筒 井 哲	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
戸 澤 明 雄	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会

氏 名	所 属
中 川 敏	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
西 本 哲 明	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
原 明 正	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
船 藏 和 久	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
松 下 良 興	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
松 田 伸 一	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
松 永 逸 郎	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
松 本 清 茂	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
宮 代 道 夫	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
村 田 嘉 隆	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会
山 崎 正 敏	東 京 湾 水 先 区 水 先 人 会

【船員永年】

氏 名	所 属
伊 藤 勝	東 京 湾 フ ェ リ ー (株)
請 藏 榮 孝	日 本 海 洋 事 業 (株)
野 口 和 徳	日 本 海 洋 事 業 (株)
石 関 利 幹	神 新 汽 船 (株)
上 釜 敏 明	(株) M O L マ リ ン
神 屋 秀 一	大 洋 エ ー ア ン ド エ フ (株)
田 中 淳 志	大 洋 エ ー ア ン ド エ フ (株)
千 葉 一 二	大 洋 エ ー ア ン ド エ フ (株)
西 野 保 文	大 洋 エ ー ア ン ド エ フ (株)
尾 形 幸 男	(株) 日 本 丸
磯 崎 康 宏	日 立 埠 頭 (株)

【統計調査】

有限会社小高造船所

氏 名
大東ポンプ工業株式会社

所 属

平成28年7月15日

(問い合わせ先)

関東運輸局海事振興部船員労政課 担当 松本・長谷川

電話:045-211-7231 FAX:045-201-8788

(配布先) 神奈川県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ、
横浜海事記者クラブ、物流専門紙

内航海運のパネルの常設展示

夏休み期間中にエスカル横浜において開催

関東運輸局は、関東地方船員対策協議会と協力して、平成25年より、帆船日本丸の総帆展帆に合わせて、内航パネル展を年に3～4回開催し、若年内航船員確保育成の推進を図るとともに、海事振興、海事思想の普及に努めてきました。

昨夏、「海の日」制定20周年を記念して、船員の福利厚生施設である横浜海員会館(エスカル横浜)において、初めて内航海運のパネルの「常設展示」を実施しました。

今年も、夏休み期間中にパネルの常設展示を行うとともに、内航海運や船員について分かりやすく説明したDVDや冊子の無料配布も行います。皆様、奮ってご来場ください。

実施期間 : 7月16日(土)～9月25日(日)

実施場所 : 横浜海員会館(エスカル横浜) 2階エレベータホール

横浜市中区山下町84番地 www.jswa.or.jp/escal/

最寄り駅:みなとみらい線「元町・中華街駅」3番出入口すぐ横

展示パネル : 内航海運に係るパネル合計21枚

実施機関 : 関東運輸局海事振興部、横浜海員会館(エスカル横浜)

【展示風景】



平成28年7月15日

問い合わせ先

関東運輸局海事振興部旅客課 担当 内山・流石

電話 045-211-7214 FAX 045-201-8788

配布先 横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ
埼玉県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ

「4県合同・関東海っ娘塾」の開催について

—平成28年7月24日（日）～26日（火）横浜港において開催—

この度、将来を担う「海なし県」の子供達に「海」に親しみ・関心を持ってもらうため、横浜港の海事関係施設において学習・体験するプログラム「4県合同・関東海っ娘塾（海でつながる）」を平成28年7月24日（日）から26日（火）の3日間、開催します。

このプログラムは、昨年、普段海と触れ合う機会のない「海なし県」である山梨県の子供達を対象として実施した「やまなし海っ子塾」を関東地区の海なし県全県（栃木、群馬、埼玉、山梨）に広げて実施するもので、今年は、これら4県の子供達約160名（下記団体）を横浜港へ招待し、海や船に関する博物館や造船所の見学のほか、横浜港内遊覧船乗船、ロープワーク教室、海のすばらしさ、海の仕事についての講話等を行います（別添参照）。

この事業は、上記プログラムを通じて子供達が港の役割や海上貿易を通じた世界との繋がり、海の仕事への理解を深めるとともに、将来的には、このプログラムを海なし県の夏の定例行事として定着させることを目的として、関東運輸局、関東地方船員対策協議会、関東旅客船協会等の関係団体からなる「関東地区海っ子塾実行委員会」の事業（日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業）として行うものです。

【主催】 関東地区海っ子塾実行委員会

【参加者】 一般社団法人ガールスカウト栃木県連盟、同群馬県連盟、同埼玉県連盟、同山梨県連盟所属の小・中・高校生 約160名

【参考】 昨年の「やまなし海っ子塾」プレス発表

http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1507/150707/mp_p150707.pdf

【関東海っ娘塾スケジュール表】(ガールスカウト各県30～40名)

	山梨県	群馬県	埼玉県	栃木県
7月24日(日)	山梨出発	群馬出発		
10:00	三菱みなとみらい技術館着 自由見学	氷川丸着 DVD上映30分ののち自由見学		
11:30	三菱みなとみらい技術館発	氷川丸発		
12:00	昼食(FISHERMAN'S MARKET)	昼食(FISHERMAN'S MARKET)		
13:15	日本郵船歴史博物館着 説明30分ののち自由見学	日本丸パーク着 自由見学 横浜みなと博物館&日本丸		
14:45	日本郵船歴史博物館発	日本丸パーク発		
15:15	氷川丸着 DVD上映30分ののち自由見学	三菱みなとみらい技術館着 自由見学		
16:45	氷川丸発	三菱みなとみらい技術館発		
17:00	ホテル着	ホテル着		
17:30	夕食(中華菜館:同發別館)	夕食(中華菜館:同發別館)		
7月25日(月)	山下公園散策(写真撮影等)		埼玉発	栃木発
9:00	4県合同交流集会(ワールドポーターズイベントホールB)			
10:00	①海への誘い ●郵船クルーズ(株) 調査役 下田 眞平 氏 @60分 ②女性船員の講話 ●郵船クルーズ(株) 飛鳥Ⅱアシスタントパーサー 本庄 幸絵 氏@15～20分 ●関東運輸局海上安全環境部海技試験官 山崎 紗衣子 氏@15～20分 ●独立行政法人海技教育機構 機関科教官 角 真紀 氏 @15～20分			
12:00	③各県ガールスカウトからのアピール ④昼食(お弁当) ⇒集合写真撮影			
13:15	ジャパンマリンユナイテッド(株)	横浜海上防災基地着		
13:30	横浜事業所磯子工場 着 造船所見学	海上保安官訓練施設見学&体験	マリンシャトル乗船 横浜港遊覧(60分コース)	マリンシャトル乗船 横浜港遊覧(60分コース)
14:30	ジャパンマリンユナイテッド(株)		マリンシャトル下船	マリンシャトル下船
14:45	横浜事業所磯子工場 発	横浜海上防災基地発		
15:00			三菱みなとみらい技術館着	三菱みなとみらい技術館着
15:30	マリンシャトル乗船 横浜港遊覧(60分コース)	マリンシャトル乗船 横浜港遊覧(60分コース)	自由見学	自由見学
16:30	マリンシャトル下船	マリンシャトル下船	三菱みなとみらい技術館発	三菱みなとみらい技術館発
16:45	帰路	帰路	ホテル着	ホテル着
		17:30	夕食(中華菜館:同發別館)	夕食(中華菜館:同發別館)
7月26日(火)	山下公園散策(写真撮影等)		山下公園散策(写真撮影等)	
	9:00		日本丸パーク着 自由見学	
	10:00		横浜みなと博物館&日本丸 DVD上映30分ののち自由見学	
	11:30		日本丸パーク発	
	12:00		昼食(FISHERMAN'S MARKET)	
	13:15		氷川丸着 DVD上映30分ののち自由見学	
	14:45		氷川丸発	
	15:15		横浜海上防災基地着 海上保安官訓練施設見学&体験	
	16:45		横浜海上防災基地発 日本丸パーク着 自由見学 横浜みなと博物館&日本丸	
			日本丸パーク発	
			帰路	



交流集会会場



交流会(イメージ)



横浜海上防災基地見学会



【関東地区海っ子塾実行委員会】では、日本財団「海と日本プロジェクト」の助成を受けて、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して、人と人とがつながることを目的として、本事業を実施しています。

ファクシミリ返信用紙

【関東地区海っ子塾実行委員会】

事務局：関東運輸局海事振興部旅客課 宛

FAX 045-201-8788

- ◆ 誠に恐縮ではございますが、ご取材をいただける場合には、必要事項を記入のうえ、平成28年7月22日（金）までにご返信くださいますようお願いいたします。

「4県合同・関東海っ娘塾の開催」

開催日時：平成28年7月24日（日）～7月26日（火）

【場所・開催時間につきましては、スケジュール表をご参照ください。】

取材日時：

取材場所：

ご氏名		
貴社名		
ご所属		
ご住所		
TEL	会社電話	携帯電話
FAX		
E-mail		

関東運輸局プレスリリース

同時発表：観光庁・各地方運輸局
沖縄総合事務局

平成 28 年 7 月 15 日
関 東 運 輸 局

**平成 28 年度「宿泊施設のインバウンド対応支援事業」の公募を開始
～ 訪日外国人が利用しやすい旅館・ホテルの拡大に向けて ～
〔平成 27 年度事業に続く第二弾〕**

観光庁では、本日、宿泊施設が訪日外国人旅行者の利便性を向上させるための経費の一部を補助する平成 27 年度「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金」の認定を観光庁ホームページにおいて公表し、その第二弾として平成 28 年度事業の公募を開始します。

平成 27 年度に引き続き、地域の宿泊事業者（5 者以上）等による協議会が「訪日外国人宿泊者受入体制拡充計画」を策定し、国土交通省の認定を受けた場合、各宿泊事業者等が当該計画に基づいて実施する Wi-Fi の整備、自社サイトの多言語化等の事業の経費の 1/2（上限 100 万円）を支援いたします。

なお、平成 27 年度事業は、167 団体の応募があり、157 団体を認定しました。

※詳細は観光庁 HP をご覧ください。

HP：http://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000281.html

記

1. 公募期間

平成 28 年 7 月 15 日（金）～8 月 15 日（月）17 時

2. 公募のお申し込み及びお問い合わせ先

宿泊施設インバウンド対応支援事業補助金事務局

住所：〒100-8228 東京都千代田区大手町 2-6-4

電話番号：03-6262-5260

受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（月～金曜日（祝日を除く））

※お申し込み方法及び公募説明会の動画は下記 URL をご覧ください。

URL：http://www.shukuhaku.in/

3. 添付資料（本紙裏面をご参照下さい）

交付要綱ポイント（抜粋） ※交付要綱、申請様式は観光庁 HP をご覧ください。

HP：http://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000280.html

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

観光庁 観光産業課（担当：西川、狩谷、初谷、野村）

TEL：03-5253-8111（内線 27-302、27-305）

03-5253-8329（直通）

FAX：03-5253-1585

関東運輸局 観光部 観光企画課

（担当：飯塚、松沼）

TEL：045-211-1255

FAX：045-211-7270

【配布先】

横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、関東運輸局記者会[ハイタク等専門紙]、物流専門紙

交付要綱のポイント

1. 宿泊施設インバウンド対応支援事業

○ 事業概要

- ①複数の宿泊事業者（5以上）が協議会を設立。
- ②「訪日外国人宿泊者受入体制拡充計画」を策定し、観光庁に当該計画を提出。
- ③観光庁が、有識者委員会の意見を聴いて、認定・交付決定。

<訪日外国人宿泊者受入体制拡充計画>

協議会が現状分析、それらを踏まえた取組、目標（外客宿泊者数、平均稼働率）等を記載。

<補助率>

1／2（上限額100万円／1事業者）

<フォローアップ>

下記事項を定期的に観光庁に報告（2年間）

団 体：計画の実施状況（1年毎）

宿泊事業者：外客宿泊者数、客室稼働率（毎月）

○ 補助対象事業（例）

- ・館内及び客室内のWi-Fi整備
 - ・館内及び客室内のトイレの洋式化
 - ・自社サイトの多言語化
 - ・館内及び客室内のテレビの国際放送設備の整備
 - ・館内及び客室内の案内表示の多言語化
 - ・客室の和洋室化
- 等